

第 18 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事メモ

日 時：令和 2 年 5 月 1 日(金)16:00~17:25

場 所：県庁 6 階 第 2 特別会議室

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、
金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、
名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、長嶺 農林水産部長、
嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、
伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、糸数 保健衛生統括監、高山先生

※冒頭、糸数統括監が、新規患者 0 人、療養ホテル退所 3 人を含む 45 人か退院等を報告

- 知事質問：特定のエリアを指定し、クラスターとして扱い、PCR検査の対象とすることは可能か。繁華街や通りを指定して検査対象とする可能性をメッセージとして発すれば、抑制力になると考えている。
 - 糸数統括監：石垣市が美崎町を指定して市民にPCR検査を促した事例はある。次のステップとして検討する。商店街等との事前の調整が必要になると思われる。
- 我那覇局長：県立病院のコロナ患者の状況、宮古病院からの新生児搬送、病院事業局職員による手作りガウンの作成等について報告があった。

2 議 題

(1) 第 5 回新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の報告

- 糸数統括監から、第 5 回新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の内容について報告があった。
- 各課題の解決に向けては、迅速に対応することを確認した。

(2) 国の専門家会議について

- 国の専門家会議において、緊急事態宣言措置の延長について提言が出されたことを受け、沖縄県としての対応を急いで検討する必要がある。
- 各部局から各種団体の意見を聴取し、沖縄県が「特定警戒都道府県」に指定されるシチュエーションも考慮した上で、5 月 4 日(月)までに対応方針をとりまとめることとした。

- 5月5日(火)には午前中に対策本部を開催し、国の対応方針を踏まえた上で各部局から出された対応方針案を審議、班長会議を挟んで整理し、午後に再度対策本部を開催して対応方針をとりまとめる。同日中に知事メッセージとして発表することとした。

4 閉 会